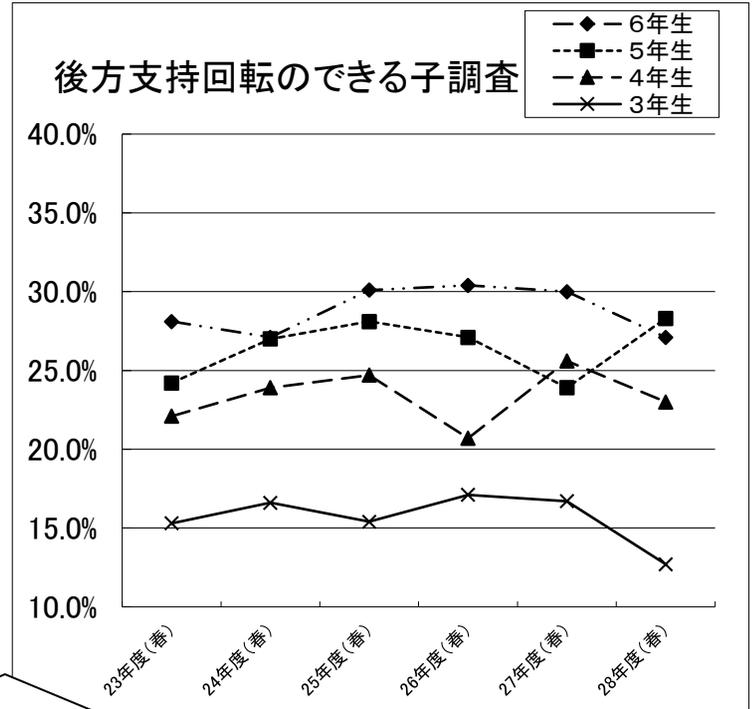
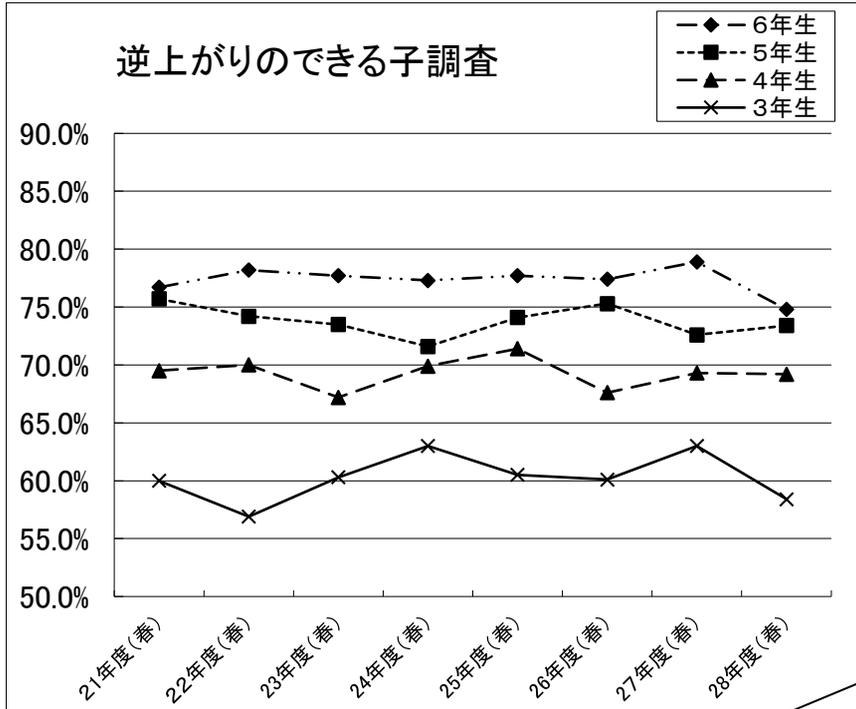


Athlete

5年生の逆上がり、後方支持回転ともに向上



逆上がりのできる子調査(%)

年度 学年	21 年度	22 年度	23 年度	24 年度	25 年度	26 年度	27 年度	28 年度
6年	76.7%	78.2%	77.7%	77.3%	77.7%	77.4%	78.9%	74.8%
5年	75.7%	74.2%	73.5%	71.6%	74.1%	75.3%	72.6%	73.4%
4年	69.5%	70.0%	67.2%	69.9%	71.4%	67.6%	69.3%	69.2%
3年	60.0%	56.9%	60.3%	63.0%	60.5%	60.1%	63.0%	58.4%

後方支持回転のできる子調査(%)

23 年度	24 年度	25 年度	26 年度	27 年度	28 年度
28.1%	27.1%	30.1%	30.4%	30.0%	27.1%
24.2%	27.0%	28.1%	27.1%	23.9%	28.3%
22.1%	23.9%	24.7%	20.7%	25.6%	23.0%
15.3%	16.6%	15.4%	17.1%	16.7%	12.7%

<考察>

【鉄棒に触れる機会を増やす】

○5年生の逆上がりと後方支持回転の達成率が、ともに昨年度よりも向上しました。しかし、後方支持回転の達成率に着目すると、昨年度(平成27年度4年生)における秋の鉄棒調査では、30.7%の達成率だったのに対し、今年度は28.3%に下がっています。つまり、できていたのにできなくなってしまった子もいるということです。秋から春にかけて鉄棒に触れる機会が少なくなっていることが要因だと考えられます。日頃から鉄棒に触れる機会を増やす支援をお願いします。

【低学年における基礎感覚作りの重要性】

○3年生の逆上がり・後方支持回転の達成率が過去最大の減少率となりました。3年生の技能を高めるには低学年の基礎感覚作りが重要になります。足抜き回りでは、逆上がりに必要な”逆さ回転感覚”や”体を支える筋力”を養うことができます。低学年のうちから逆上がりの基礎となる足抜き回りの指導を行うことが大切だと考えられます。今年度の1・2年生の足抜き回りでは、1年生では85%、2年生で90%以上を目指した指導をしていきませんか。

- <達成率の高い学校ではこんな取組をしています>①~③は袋井東小、④⑤は豊田南小の取組です。
- ①移動式鉄棒の地面の部分が深く削れていたのを、一度取り外し、下にジョイントマットを敷いて蹴りやすくした。
 - ②体育部の呼び掛けを多くの教師が意識し、子どもたちへ積極的に働き掛けた。
 - ③同学年の授業を2クラスで合同実施することにより、教師の指導が行き届いた。
 - ④昼休みの時間を利用して、個別指導を1年間通して行った。
 - ⑤補助具を積極的に活用した。